

1) 高齢者の社会保障制度に関する詳細な問題に注意！

【98 PM62】 高齢者の権利擁護で正しいのはどれか。

1. 成年後見制度の任意後見人は裁判所が決定する。
2. 認知症の診断とともに成年後見制度が適用される。
3. 高齢者虐待を発見した者は市町村に通報する義務がある。
4. 虐待されている高齢者を老人短期入所施設等に入所させる法律はない。

【100 AM66】 成年後見制度で正しいのはどれか。

1. 法定後見人は、都道府県知事が選任する。
2. 任意後見人とは、家族が後見人になる場合を指す。
3. 成年後見人は、財産管理などの法律行為を支援する。
4. 日常生活自立支援事業の一部として位置づけられる。

【101 PM67】 介護保険におけるサービスの説明で正しいのはどれか。

1. 通所介護では機能訓練を行うことができない。
2. 通所介護を行う事業所には医師の配置が必須である。
3. 通所リハビリテーションでは個別の理学療法が提供される。
4. 通所リハビリテーションの利用に介護保険は適用されない。

【102 PM59】 平成 3 年（1991 年）に国際連合総会〈国連総会〉で決議された「高齢者のための国連原則」でないのはどれか。

1. 公平の原則
2. 参加の原則
3. 尊厳の原則
4. 自己実現の原則

【112 AM54】 高齢者の身体拘束に関する説明で適切なのはどれか。

1. 身体拘束の実施は担当看護師が決定する。
2. ミトン型の手袋の使用は身体拘束ではない。
3. 本人が身体拘束に同意していれば家族への説明は不要である。
4. 切迫性、非代替性および一時性の全てを満たしている場合に検討される。

2) カタカナ用語をチェックしよう！

【109 PM 56】高齢者に対するエイジズムの説明で適切なのはどれか。

1. 年齢にとらわれないこと
2. 加齢に伴う心身機能の変化
3. 高齢という理由で不当な扱いをすること
4. 老化に関連した遺伝子によって引き起こされる現象

【105 PM48】認知症の高齢者に対するノーマライゼーションで正しいのはどれか。

1. 散歩を勧める。
2. 決められた服を着るよう勧める。
3. 重度の場合は精神科病棟に入院を勧める。
4. 食べこぼしのあるときに箸を使用しないよう勧める。

【105 AM50】エイジズムを示す発言はどれか。

1. 「介護を要する高齢者を社会で支えるべきだ」
2. 「後期高齢者は車の運転免許証を返納するべきだ」
3. 「認知症の患者の治療方針は医療従事者が決めるべきだ」
4. 「高齢者が潜在的に持つ力を発揮できるような環境を整えるべきだ」

【103 AM59】高齢者が自身の終末期における生き方や死の迎え方の意向を表示する方法としてのアドバンスディレクティブ〈事前指示〉について正しいのはどれか。

1. 法的な拘束力がある。
2. 代理人を指名できない。
3. 口頭や文書で意思表示できる。
4. 財産の管理者の指定ができる。

【103 PM54】高齢者の蛋白質・エネルギー低栄養状態〈protein-energy malnutrition : PEM〉について正しいのはどれか。

1. 体脂肪の消耗はみられない。
2. 要介護度が高いほど PEM の発症率が高い。
3. PEM の発症率は心疾患によるものが最も高い。
4. 栄養指標は血清アルブミン 3.7g/dL 以下である。

3) 認知症に関する問題は必ず出題される！

【111 PM97～99】 Aさん（82歳、女性）は息子（57歳、会社員）と息子の妻（55歳、パート勤務）との3人暮らし。3年前にAlzheimer〈アルツハイマー〉型認知症と診断され、認知症高齢者の日常生活自立度判定基準Ⅱb、要介護2である。Aさんの介護は、主に息子の妻が行っていた。Aさんは、声かけがあれば日常生活動作〈ADL〉を自分で行うことができた。しかし、Aさんは徐々に認知症が重度化し、1人で外出すると帰ってくるができなくなり、夜間に落ちつきなく動き回ることが多くなった。息子と息子の妻はAさんの介護について介護支援専門員に相談していたが、息子の妻は睡眠不足となり、体調を崩してしまった。そのため、Aさんは介護老人保健施設に入所することになった。

問題 97 看護師からAさんに施設について説明したが、その後もAさんは「ここはどこ」と繰り返し聞いていた。息子の妻は「私がやらなければいけないことは何ですか」と聞いてきた。

息子の妻に対する看護師の対応で最も適切なのはどれか。

1. 「面会に来てください」
2. 「家族会に参加しましょう」
3. 「まずは休息をとりましょう」
4. 「認知症への対応を覚えましょう」

問題 98 入所した日の夕方、Aさんは自分の荷物をまとめて「夕食を作らなければいけないので、家に帰ります」と施設内を歩いている。

Aさんへの看護師の対応で適切なのはどれか。

1. 「他の入所者と話をしましょう」
2. 「椅子に座ってお話ししませんか」
3. 「入所中なので家には帰れません」
4. 「歩くのは危ないのでやめましょう」

問題 99 入所して1週間後。Aさんは、朝、声をかけられてもなかなか目を覚まさない。午前中は看護師が他の入所者と交流することを目的に共有スペースに誘導するが、Aさんは共有スペースの椅子に座ったまま眠ってしまい、レクリエーションへ誘われても参加はしない。夕方から夜間にかけてAさんは活動的となり、施設の廊下を歩き職員に話しかけている。

Aさんへの看護師の対応で最も適切なのはどれか。

1. 朝の入浴を勧める。
2. 日中の散歩に誘う。
3. 朝はAさんが自分で起きるまで待つ。
4. 日中は椅子に座って過ごしてもらう。

【110 AM65】 A さん（75 歳、男性）は妻（66 歳）と 2 人暮らし。3 か月前に認知症の診断を受けた。妻から訪問看護師に「夫は通所介護のときは穏やかに過ごしていると聞いているが、家では興奮することが多く、どう対応すればよいかわからない」と相談があった。

このときの妻に対する訪問看護師の最初の対応で適切なのはどれか。

1. 主治医に相談するように勧める。
2. A さんと散歩に出かけることを勧める。
3. 通所介護の頻度を増やすことを提案する。
4. A さんが興奮する状況を妻と一緒に振り返る。

【109 AM 53】 軽度認知障害で正しいのはどれか。

1. 一過性の障害である。
2. 実行機能障害がある。
3. 物忘れを自覚している。
4. 日常生活動作〈ADL〉が障害される。

【107 PM120】 A さん（82 歳、男性）。長男夫婦との 3 人暮らし。4 年前に認知症と診断された。Barthel 〈バーセル〉インデックスは 100 点、Mini Mental State Examination 〈MMSE〉は 18 点。環境の変化で落ち着きがなくなることがある。日頃は温泉旅行やカラオケを楽しんでいる。右外果にできた創傷から右下腿の腫脹と疼痛が出現したため病院を受診したところ、蜂窩織炎と診断されて入院した。入院翌日、右下腿の腫脹と疼痛は続いている。担当看護師は、認知症の行動・心理症状〈BPSD〉を最小限にするための看護を計画することとした。

問題 担当看護師が計画する A さんへの看護で適切でないのはどれか。

1. 右下腿を足浴する。
2. 右下腿を挙上する。
3. 温泉旅行の話をする。
4. A さんが好きな歌を歌う機会をつくる。

【107 AM49】 A さん（66 歳、男性）は、Lewy 〈レビー〉小体型認知症であるが、日常生活動作〈ADL〉は自立している。介護老人保健施設の短期入所〈ショートステイ〉を初めて利用することとなった。施設の看護師は、同居している家族から「以前、入院したときに、ご飯にかかっているゴマを虫だと言って騒いだことがあったが、自宅ではそのような様子はみられない」と聞いた。

入所当日の夜間の対応で適切なのはどれか。

1. 虫はいないと説明する。
2. 部屋の照明をつけたままにする。
3. 細かい模様のある物は片付ける。
4. 窓のカーテンは開けたままにする。

【108 PM97-99】 Aさん（82歳、女性）は、Alzheimer〈アルツハイマー〉型認知症で、認知症高齢者の日常生活自立度判定基準Ⅱb、要介護1である。息子と2人暮らしであったが、1年前から認知症対応型共同生活介護〈認知症高齢者グループホーム〉に入所している。息子は仕事が忙しいため、2か月に1回面会に来所する。Aさんは2日前から活気がなくなり、食事量も減少した。本日、発熱や下痢を主訴に介護職員に付き添われて外来を受診した。外来の看護師が介護職員に普段の健康状態の把握の方法を尋ねると、1日1回の体温と血圧の測定、月1回の体重測定、レクリエーションへの参加の様子を確認しているという回答を得た。Aさんは、看護師の簡単な質問に答えることができる。

身体所見：体温 37.0℃、呼吸数 24/分、脈拍 72/分、血圧 132/82mmHg、呼吸音は異常なし。水様便が3回/日、濃縮尿、手指の冷感あり、顔色は不良。皮膚の乾燥あり。体重 45.8kg。

検査所見：Ht40%、白血球 9,800/ μ L、尿素窒素 25mg/dL、Na150mEq/L、尿比重 1.030。

問題 97 外来の看護師が介護職員から追加で収集する Aさんの情報で、最も優先するのはどれか。

1. 過去 1 週間の体温の変動
2. 昨日の睡眠状態
3. 全身の皮膚状態
4. 入所時の体重

問題 98 Aさんは入院し、点滴静脈内注射が開始された。Aさんの顔色は良くなり眠っているため、介護職員は施設に戻った。看護師が Aさんの様子を確認するため病室へ行くと、目が覚めた Aさんは「誰かいらないの」と大声を出し、興奮した様子で点滴静脈内注射のラインを外そうとしていた。

看護師の対応で適切なのはどれか。2つ選べ。

1. 睡眠薬を与薬する。
2. 入院中であることを伝える。
3. 興奮が落ち着くまで身体拘束を行う。
4. 息子に退院まで付き添うよう連絡する。
5. 点滴静脈内注射のラインを見えないようにする。

問題 99 入院後 3 日。Aさんは開始された食事を全量摂取し、活気が出てきた。Aさんは自ら水分を摂ることはなかったが、看護師がお茶を勧めると、少量ずつ摂取している。体重 47kg。Aさんの尿の性状は淡黄色で尿臭はなく、血液検査データは改善して基準値となったため、点滴静脈内注射が中止となり、退院が決まった。

Aさんが外来受診時と同じ状態を起こさないために、看護師が介護職員に伝える予防策で適切なのはどれか。

1. 室温は 30℃に保つ。
2. 8g/日の食塩を摂取する。
3. カフェインを含む水分を摂取する。
4. 熱の放散を抑制する衣類を選択する。
5. 食事を含めて 1,300mL/日の水分を摂取する。

【106 PM94-96】Aさん（79歳、女性）。自宅の玄関で転倒し、救急外来で第12胸椎の圧迫骨折と診断され、安静目的で入院した。

既往歴：5年前に大腿骨骨折

現病歴：2年前にAlzheimer〈アルツハイマー〉病を発症。記憶障害があるが、失認、観念運動失行および失語はなし。

生活歴：要介護1。同じ敷地内に住む長男夫婦は仕事をしている。ADLは自立。

問題94 現在のAさんのAlzheimer〈アルツハイマー〉病の状態でもっと適切なのはどれか。

1. 視線を動かすことができる。
2. 車椅子を操作することができる。
3. 季節に合わせて服を選ぶことができる。
4. Mini-Mental State Examination〈MMSE〉20点である。

問題95 Aさんは、誤嚥性肺炎のために入退院を繰り返している。今回の入院で主治医はAさんの家族に胃瘻の造設を含めた今後の方針を説明した。Aさんの長男は胃瘻の造設を希望せず、主に介護を行ってきた長男の妻は「私には決められない」と迷っている。

Aさんの長男の妻に対する看護師の対応としてもっと適切なのはどれか。

1. 「あなたがAさんの立場ならどうしますか」
2. 「介護支援専門員の考えを聞いてみましょう」
3. 「私の経験から胃瘻を造らないことを勧めます」
4. 「Aさんはこのような状況になったとき、どうしたいと言っていましたか」

問題96 その後、Aさんは誤嚥性肺炎の症状が軽快し、胃瘻を造設せずに退院する予定である。家族は自宅での介護を考えていたが、長男の妻が脳出血で入院したため、Aさんの退院先の再検討を行うことになった。

Aさんの退院先としてもっと適切なのはどれか。

1. 軽費老人ホーム
2. 介護老人福祉施設
3. 回復期リハビリテーション病棟
4. 認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）